どんぐりの森通信　第22号　2012年 10月

『平岡どんぐりの森』は、身近な地域の自然に親しむ活動をしているグループです。平岡公園や東部緑地をフィールドにした自然観察会や生きもの調査・保護活動を通じて、地域の自然を知り、大切に見守る目を増やしていきたいと思っています。会の発足から10年がたち、周辺の環境や活動内容は少しずつ変わってきていますが、自然の中で楽しく学ぼうという基本姿勢は変わることなく活動を続けています。

記録的と言っていいほどの長くきびしい残暑が続いた今年の夏でしたが、森にもようやく秋の気配が漂ってきました。一列になって夕暮れの空を飛んでいくハクチョウの群れも目にします。野山の動物も人も衣替えの季節に、これまでの活動記録をまとめた『どんぐりの森通信　第 22号』をお届けします。

❖❖ 活動日誌から ❖❖

●１月～３月

1 月 11 日　新年会・**越冬期の鳥調査**（東部緑地）と新年会
アカゲラ・コゲラ・キバシリ・シジュウカラ・ハシブトガラ・ヒヨドリ・ミソサザイ　など
*エゾウサギ*の足跡多数、走る姿もちらと見えました。

14 日　**冬休み平岡公園にぎわいフェスタ**　スノーシューで雪の森を探検、スノーキャンドル作り

20 日　**越冬期の鳥調査**　*オオアカゲラ・エナガ・ヤマガラ*など

２月 8 日　**ツリーウオッチング**（平岡公園）　冬芽・越冬期の樹木

9 日　**越冬期の鳥調査**（東部緑地）

11 日　**ながぐつの土曜日**　「冬の森たんけんたい」

13 日　清田小　カンジキ体験・清田緑地を知ろう！

３月_2 日　野幌森林公園スノーシューハイク

11 日　クマゲラ調査（野幌森林公園）に参加

22 日　**はらっぱ会議**　今年度の活動予定を協議

●４月～５月

４月 6 日　**モニ 1000 カエル調査**　①　エゾアカガエルの卵塊数調査

21 日　**ながぐつの土曜日**　「飛び出せ！春の森たんけんたい」と**モニ 1000 カエル調査**　②

27 日　**アオサギ観察会**　（平岡高校屋上）

５月 9 日　**モニ 1000 カエル調査**　③と美々川源流ウオッチング

16 日　**ツリーウオッチング**（東部緑地）

18 日　**繁殖期の鳥調査**

19 日　**ながぐつの土曜日**　「若葉の森たんけんたい」
モニ 1000 カエル調査　④

27 日　**アオサギ観察会とミニ講演会**
世田豊平川河畔のアオサギコロニーの観察と
北海道アオサギ研究会代表　松長克利さんの講演
詳細は http://www.greyheron.org/activity/11-06-04-2/

30 日　**繁殖期の鳥調査**　クマゲラ発見！

31 日　清田小　総合学習『清田緑地を知ろう！』

●6月～7月

6月 13 日　**繁殖期の鳥調査**
東部緑地の延長工事説明会（札幌市公園緑地課）

16 日　**ながぐつの土曜日**「トンボとチョウのたんけんたい」

6月16日　フラワーソン（東部緑地）
17日　フラワーソン（平岡公園）
20日　**東部緑地ツリーウオッチング**
札幌新道工事現場での調査立ち会い（移植植物とニホンザリガニ追跡調査）
22日　**アオサギ観察会**第3回　平岡コロニー・幼鳥の飛行訓練
25日　平岡南小学校（平岡公園の観察学習）
27日　平岡公園湿地観察会　矢部先生の解説で植物観察
7月18日　**東部緑地ツリーウォッチング**
19日　清田小総合学習「清田緑地たんけん②」
21日　**ながぐつの土曜日**「川のたんけんたい」
25日　平岡公園除草作業（湿地周辺のヨシ除去）
27日　平岡公園ホタル観察会
28日　チョウと虫の観察会（平岡公園）　蝶の研究家・問田さんの解説

●8月～9月
8月3日　ホタル観察会　　平岡公園上流湿地の木道周辺
8日　新道工事に伴う打ち合わせ（札幌市土木部道路課との協議）　平岡まちづくりセンター
18日　**夏休み平岡公園にぎわいフェスタ**
9月1日　チョウと虫の観察会（平岡公園）　初秋のチョウと虫を探す
4日　エゾホトケドジョウの池・造成作業立ち会い
15日　**ながぐつの土曜日**「秋の森たんけんたい」
19日　**東部緑地ツリーウオッチング**
ニホンザリガニ個体数調査

❖❖ 活動報告　　2012年　春～夏　❖❖

モニタリングサイト1000　里地調査

平岡どんぐりの森は、環境省のプロジェクト『モニタリングサイト 1000 里地調査』の一環として、カエル類（平岡公園）と鳥類（東部緑地）の調査に参加しています。次期（2013年～2017年度）調査も継続して、地域の自然環境を見守っていきたいと思います。

●鳥類調査　　調査日:　:越冬期'12年 1/11　1/20　2/9　　繁殖期'12年 5/18　5/30　6/13

越冬期・繁殖期各 3 回の調査で、東部緑地の大曲川沿いの遊歩道約1㎞を歩きながら片側50m（両側100m）の範囲で視認できた野鳥の種名と個体数を記録します。今年は4年目になりますが、その年により個体数や種類は多少異なりますが、ほぼ定着しているようです。今年は繁殖期に、調査時間内に初めてクマゲラを確認することができました。

●カエル調査　　調査日:　4/6　4/21　5/9　5/19　（平岡公園湿地エリア）

エゾアカガエルは、年 1 回の産卵期に産卵可能なサイズの全てのメスが1匹あたり1つの卵塊を産卵します。卵塊の数を数えることで、その地域に生息するカエルの個体数を把握できます。

今年は雪解けが遅く、4 月中旬近くまで残雪がありましたが、気温が上がり雪解けが進むと、エゾアカガエルの産卵は一気に始まりました。4/6 は卵塊 0　4/21 は人工湿地で卵塊 367 個、上流湿地の木道で5個、梅の香橋で16個を確認。この日は観察会「ながぐつの土曜日」があり、人工湿地ではエゾアカガエルの大合唱を聞きながら、子供たちと一緒にもりもりの卵塊を観察しました。5/9 にはほぼ全てが孵化。新しい卵塊は 1 個（梅の香橋）。5/19 には新しい卵塊は 0。外来種トノサマガエルの産卵が始まりました。今年は卵塊総数は例年よりも多く確認しましたが、産卵場所が1カ所に集中したことが、気になりました。

夏休み　平岡公園にぎわいフェスタ　　8月18日（土）

一般参加者・スタッフ合わせて100名近くが集まり、夏の一日を楽しく過ごしました。

酪農大学の学生さん達の手になるフィールド・ビンゴに興じた後は、広場の東屋でカエルの観察。エゾアカガエル、アマガエル、トノサマガエル、アズマヒキガエルの4種類のカエルが大きな水槽に入って登場すると、子供たちの目が輝きます。それぞれのカエルについて生態や本来の生息地域の説明があり、ここ平岡公園ではトノサマガエルの増加に困っているとの話がありました。北海道の在来種を守るために私達にできることは？との問いかけにみんな真剣に耳を傾けていました。

小川に移動して水中の生きもの探しでは、たも網とバケツを手に流れに入り、夢中になってびしょぬれになる子も続出でしたが、暑い日なので大丈夫。捕れた魚や虫は、大きなたらいや水槽に入れて観察、サケ科学館の先生に解説してもらいます。**マドジョウ、フクドジョウ、エゾホトケドジョウ**の3種のドジョウ、**エゾトミヨ**と**イバラトミヨ**、**オニヤンマ**の大きなヤゴもたくさんいました。珍しく**モクズガニ**も捕れました。捕れた魚を元の場所に返してから、きれいに手足を洗って解散。公園管理事務所提供の冷たい飲みものが美味しかったね！

水辺の生きものたちは　今…　*2012年夏*

●エゾホトケ池　造成すすむ

札幌新道延長工事が進んで、2013年度にはエゾホトケドジョウやニホンザリガニ、エゾサンショウウオなど貴重な水辺の生きものが生息する池と湿地を含む地域で工事が始まる予定です。エゾホトケドジョウについては、工事中一時別の場所に移して、道路完成後に元の場所に復元した池に戻す計画が進んでいます。9月の暑い日、札幌市職員と道路工事関係者の方々が移転先の池の造成工事を実施しました。周囲の環境への影響を小さくするために工法・材料等に配慮して、なかなか立派な池が完成しました。心配した大雨後の　増水もクリアしたので、10月中にはエゾホトケドジョウの移動を実施する予定です。

●ニホンザリガニ調査

新道工事予定地からは2010年度にニホンザリガニを移動させていますが、今年９月に移動先を含めて周辺の生息状況調査を札幌市が実施し、どんぐりのメンバーも協力しました。

一時はニホンザリガニが激減して心配した場所ですが、今年の調査では多数の生息が確認され、今年生まれの小さな個体から7㎝近い最大級のものまでさまざまな個体が見られました。調査結果の詳細は後日になりますが、移動したものも無事に生息していると推測され、私達もホッとしました。

ながぐつの土曜日

４月～10月の各月第３土曜日に、平岡公園管理事務所と共催で親子の自然観察会を開いています。『森のたんけんたい』は園内の散策路や湿地の木道を歩いて、草花や樹木、虫や小動物を観察します。いつものたんけん隊長・ゆうさんと共に、カエルや昆虫に詳しい学生さん達も参加して、こども達の質問・疑問に答えてくれます。草むらやヤブの中にも入りますよ！7 月・8 月の『川のたんけんたい』は水の中にジャブジャブ入って魚や水中の生きものを探す、子ども大人も楽しい時間です。お気軽にご参加ください。

クマゲラの子育て

文・写真　　平岡どんぐりの森　戸叶幹子

今年の春、私は幸運にも天然記念物のクマゲラの交尾を目撃することができた。

4月9日、私はいつものようにウオーキングをしていた。家から約45分くらいの所でクマゲラのメスを発見した時はラッキー！と思った。ところがそれだけではなく直後にオスが近くに飛来、2羽で森の奥の方に移動した。メスがオスを誘導するかのように樹の枝先に移動し、オスが近づき、ちょこんとメスの背中に乗ったのである。ほんの数秒のことだった。

感動のドラマはまさにその日から始まった。その後何回か通うがやっと4月20日朝、オスが近くの巣穴に入っているのを発見した。しかも30分後にはメスが飛来、オスが外に出た途端、するりと巣穴に入った。でもその時は数分してメスは飛び去ってしまった。その日以後何回かオスが巣穴にいたが、巣穴の中がまだ完成していないのか中からコツコツと音がし、時折木の破片をポイッとくちばしで外に投げ出した。少々滑稽な仕草に思わず笑ってしまった。ある日のこと、メスが顔を出しているのを見た。どうやらメスも巣穴の出来映えにOKを出したようである。

私は5月20日には長男夫婦の第3子の出産の手伝いのため北海道を離れることになっていたので、5月19日が最後の確認になった。しかし何も音がしないので、本当に中にいるの？と心配になった。そして札幌を離れる。孫は何と私が着いた翌日、「金環日食」の朝に無事誕生した。感動が重なる。それからの20日間は孫の相手で目が回る忙しさだったが、「5月31日には1時間半の観察中、オス・メス交代で4回も餌やりに来た」「ヒナは3羽いる模様」などのメールを受けクマゲラの赤ちゃんも無事孵ったことを知って癒された。

お嫁さんも順調に回復し、北海道に帰ってきたのは6月10日の夜。実はヘトヘトだったが、翌11日朝、森に行く。キョーンキョーンと親が鳴いて餌を持ち帰ると、ヒナはジャッジャッジャッと鳴いて身を乗り出す。可愛い！後日ヒナは4羽とわかる！しかし1度に餌をもらえるのは1羽だけ。しかも餌やりは私が見た限りではこの後、オスの親だけだった。

6月15日朝10時頃仲間と現場に到着した直後、巣穴から1羽のメス幼鳥が飛び立つ瞬間を目撃することができ、皆で大喜びした。あとで巣穴の中にオス1羽とメス2羽を確認したので、見たのは長女の巣立ちだった。16日の朝は1羽のメスしか確認できなかった。どうやら大きい長男と次女は前日の夕方か16日の早朝に巣立った様子。末っ子の三女は兄や姉よりずっと小さく見えた。17日の午後まで巣穴にいたことが確認されていたが18日の早朝、すでに巣穴から出ていたらしく、6時22分、私が森に到着して間もなく、キョーンと鳴きながら西の空へ飛び立っていくのが見えた。これですべてのヒナが無事巣立ったのだと思うと感無量だった。あたりは何事もなかったように静まりかえり、約2カ月以上にわたる『クマゲラ劇場』は幕を閉じたのである。たくさんの感動をありがとう！

発行　**平岡どんぐりの森**　（代表　荒井美和子）

〒004-0033　札幌市厚別区上野幌３条５丁目１２－８

tel. fax　０１１－８９６－００５８

ホームページ　http://dongurinomori.web.fc2.com/